

「飲酒・喫煙歴のない低リスク患者に発生した 食道表在癌の臨床病理学的特徴像」について

2019年1月1日～2024年3月31日の間に、
食道表在癌の治療を受けられた患者さんへ

研究機関	獨協医科大学病院	消化器内科
研究責任者	入澤篤志	
研究分担者	吉永智則 川田陽介 小西潤 郷田憲一	
審査委員会	獨協医科大学病院	臨床研究審査委員会

このたび獨協医科大学病院 消化器内科では、食道表在癌の病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、この研究は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に従い、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して行います。

なお、本研究は研究に参加される方の安全と権利を守るため、あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的と意義

これまでの多くの研究から、食道扁平上皮がんの主な原因は、お酒（飲酒）とタバコ（喫煙）であることがわかっています。

しかし最近では、お酒もタバコもまったく経験がないのに食道がんになる患者さんが増えてきています。その理由として、以下のことなどが挙げられますが、まだはっきりとはわかっていないことも多いです。

- ・1970年代の経済成長以降、食生活が欧米化し、脂肪の多い食事が増えたこと
- ・ピロリ菌の除菌治療が進んだことで、逆流性食道炎の患者が増えていること
- ・熱い飲み物（コーヒーや紅茶）を飲む習慣が関係しているかもしれないこと

また、内視鏡での見え方も、飲酒・喫煙をしていた人のがんとは異なる可能性があると言報告されていますが、そうした報告はまだ少ないのが現状です。

この研究では、お酒やタバコをしない人にできた早期の食道がんについて、どのような内視鏡画像の特徴やリスク要因があるのかを調べることで、そのようなリスクの低い患者さんに対しても効率よく検査・早期発見できる方法を見つけることを目指しています。

2. 研究対象者

2019年1月1日～2024年3月31日の間に獨協医科大学病院 消化器内科において、食道表在癌の治療を受けられた方を対象とし、40名の方にご参加いただく予定です。

3. 研究実施期間

研究全体の期間：本研究の実施許可日 ～ 2027年3月31日

4. 研究方法

上記の研究対象者において、研究者が診療情報に基づいて患者さんの内視鏡画像や病理学的所見などのデータの集積と解析を行い、特徴的な内視鏡像や発生リスク因子などを調べていきます。

5. 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

本研究では、試料の利用はありません。

◇ 研究に使用する情報

1) 患者背景

年齢、性別、既往歴、基礎疾患、感染症、他臓器癌、飲酒歴、喫煙歴、フラッシュの有無、熱いものの飲食習慣、服薬歴

2) 内視鏡治療関連データ

内視鏡像（部位・方向・大きさ・萎縮性胃炎・逆流性食道炎・食道裂孔ヘルニア・錯角化の有無・ルゴール染色における不染帯の数）

SCC の病理学的所見（病変部の錯角化・背景粘膜の炎症細胞浸潤）

6. 情報の保存と廃棄

エクセルで作成したデータシートに上記データ入力を行います。氏名、住所、検査施行日など、個人を特定できる指標および上記以外の項目は入力しません。また、研究用の対象者識別番号は患者 ID とは別の任意の専用番号（対象者識別コード）を入力します。なお、本エクセルデータはインターネットに接続していないパソコンで保管します。また研究終了後は、5 年間の保存ののちに速やかにデータを削除、破棄します。

7. 研究計画書の開示

患者さん等からのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画の資料等を閲覧することができます。下記連絡先までお問い合わせ下さい。

8. 研究成果の取扱い

解析結果は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認し、医学関連の学会および学術誌に投稿を行い公表します。研究参加者への研究結果の開示は行いませんが、問い合わせがあった場合には論文発表後であれば結果の説明を行います。

9. この研究に参加することでかかる費用について

この研究は通常診療内で行うものであり、通常の保険診療内で行われます。

10. この研究で予想される負担や予測されるリスクと利益について

本研究は既存の情報を用いるため、主に予測されるリスクは個人情報の漏洩に関するのですが、デ

ータは特定の個人を識別することができないように加工し、厳重に管理することで個人情報の保護について対策を行います。また、この研究に参加することで直接利益を得られないかもしれませんが、この研究を行うことで、有用な情報が得られれば、将来的に多くの患者さんの手助けになる可能性があります。

11. 知的財産権の帰属について

この研究の結果として、知的財産権が生じる可能性があります、その権利は獨協医科大学病院 消化器内科に帰属します。

12. この研究の資金と利益相反 *について

この研究は、獨協医科大学病院消化器内科の研究費によって行われます。この研究にご参加いただくことであなたの権利や利益を損ねることはありません。

*利益相反とは、外部との経済的な利益関係によって、研究の実施に必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念される行為のことです。

13. 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、2027年3月31日までに下記にお申し出ください。何らかの理由により、あなた自身が研究計画書の閲覧希望、研究の拒否希望を述べることや決定することが出来ない場合には、あなたのご家族やあなたが認める方を代諾者としてお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、解析開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

獨協医科大学病院 消化器内科
研究担当医師 吉永智則
連絡先 0282-86-1111（平日：9時～16時30分）

14. 外部への情報の提供

外部への情報提供はありません。